

千城台地区学校跡施設の活用素案作成の考え方（補足説明）

1 基本的な考え方（補足）

- (1) この活用素案は、学校跡施設の利活用の方向性を示すものです。個別の施設の具体的な内容は、今後検討します。
- (2) 千城台地区では、既に利用している公共施設の老朽化が進んでいることから、今回を契機に建替え・移転することを提案します。
- (3) 学校跡施設の整備に加えて、統合校の整備には多額の財政負担が伴うため、市として利活用がなく余剰となる学校跡施設については売却を行い、財源を確保し、将来の財政負担を軽減することを提案します。

※ 千葉市では、今後、少子高齢化の進展により人口が減少し、それに伴って税収の減少が見込まれます。一方で、公共施設は老朽化が進み、使い続けるには改修や建替えが必要になり、莫大な費用が掛かるため、千葉市全体として、資産の効率的な利用や資産総量の縮減などの取り組みを進めています。

2 施設配置の考え方

